

# 小規模企業の景況

(2026年1～3月期)

大阪商工会議所による小規模企業の景況調査(四半期毎)2026年1～3月期の結果概要は以下の通り。今期(2026年1～3月期、調査基準日:3月1日)の業況判断DIは▲12.5(前回調査▲17.4)となり、3期連続して上昇した。売上額DI値は▲8.2(前回調査から9.6ポイント上昇)、資金繰りDI値は▲13.7(前回調査から2.5ポイント上昇)と改善が見られる一方、従業員数過不足DI値は▲16.0(前回調査から0.6ポイント低下)となり、人手不足感はやや強まった。「経営上の問題点」では、「仕入単価の上昇」が小売業で15期連続、卸売業で8期連続の第1位となり、引き続き2業種で単価上昇が共通課題となった。

## 1. 今期(2026年1～3月期)の状況

**【売上額】**今期(2026年1～3月期)の売上額DI(全産業)は、前回調査(2025年10～12月期)の▲17.8から9.6ポイント上昇し、▲8.2となった。業種別では前回調査から、製造業が4.1ポイント、小売業が26.7ポイント、サービス業が12.5ポイントそれぞれ上昇し、卸売業が3.8ポイント低下した。

**【資金繰り】**今期の資金繰りDI(全産業)は、前回調査(▲16.2)から2.5ポイント上昇し、▲13.7となった。業種別では前回調査から、卸売業が4.7ポイント、小売業が1.1ポイント、サービス業が5.0ポイントそれぞれ上昇し、製造業が横ばいであった。

**【業況判断】**今期の業況判断DI(全産業)は、前回調査(▲17.4)から4.9ポイント上昇し、▲12.5となった。業種別では前回調査から、製造業が5.4ポイント、小売業が13.0ポイント、サービス業が14.0ポイントそれぞれ上昇し、卸売業が14.3ポイント低下した。

**【従業員数過不足】**今期の従業員数過不足DI(全産業)は、前回調査(▲15.4)から0.6ポイント低下し、▲16.0となった。業種別では前回調査から、卸売業が1.5ポイント、小売業が1.1ポイント、サービス業が0.5ポイントそれぞれ上昇し、製造業が4.1ポイント低下した。

## 2. 来期(2026年4～6月期)の予想

来期(2026年4～6月期)の全産業の予想DIは、売上額▲4.3、資金繰り▲8.6、業況判断は▲10.5となった。

## 3. 経営上の問題点

製造業で「需要の停滞」、卸売業・小売業で「仕入単価の上昇」、サービス業で「人件費の増加」が第1位となった。

**※DI値とは……**ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、本調査では前年同期(2025年1～3月期)と比較して売上額、業況判断、資金繰りなどが「増加」「好転」したなどとする企業割合から、「減少」「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

本件担当：大阪商工会議所 中小企業振興部 経営相談室 TEL:06-6944-6451

### 【調査の概要】

- ・調査名：第183回中小企業景況調査（中小企業庁・中小企業基盤整備機構）
  - ・調査時期：2026年2月17日～3月8日（前回：2025年11月1日～20日）
  - ・調査方法：経営指導員による、調査票に基づく聴取り調査
  - ・調査対象：大阪市内の中小企業・小規模事業者
    - ※ 全国18,825件中（商工会議所調査対象7,966件）、大阪商工会議所分324件。
    - ※ 本紙では、大阪商工会議所分のうちとくに小規模事業者（従業員：製造業20人以下、商業・サービス業5人以下）256件について取りまとめた。
- 〔製造業74件、卸売業57件、小売業57件、サービス業68件〕

### ■DI推移（全産業）

	180回調査	181回調査	182回調査 (前回)		183回調査 (今回)	
	2025年(R7) 4～6月期	2025年(R7) 7～9月期	2025年(R7) 10～12月期	2026年(R8) 1～3月期	2026年(R8) 1～3月期	2026年(R8) 4～6月期
売上額（増-減）	-16.8	-18.0	-17.8	-4.6	-8.2	-4.3
資金繰り（好-悪）	-17.9	-18.7	-16.2	-11.6	-13.7	-8.6
業況（好-悪）	-24.8	-23.2	-17.4	-8.5	-12.5	-10.5
従業員（過-不）	-15.6	-12.7	-15.4	-	-16.0	-

順位	製造業	件数	卸売業	件数	小売業	件数	サービス業	件数
1位	需要の停滞 →	14 (14)	仕入単価の上昇 →	20 (17)	仕入単価の上昇 →	15 (17)	人件費の増加 ↑	10 (13)
2位	原材料価格の上昇 →	12 (13)	需要の停滞 →	11 (13)	需要の停滞 →	10 (11)	需要の停滞 ↑	8 (10)
	生産設備の不足・老朽化 ↑	12 (8)						
3位			メーカーの進出による競争の激化 →	5 (4)	消費者ニーズの変化への対応 →	6 (9)	利用者ニーズの変化への対応 ↓	7 (14)
					大型店・中型店の進出による競争の激化 ↑	6 (4)	材料等仕入単価の上昇 ↑	7 (1)

### ■経営上の問題点

〔注〕（ ）内は前回（2025年10～12月期）調査結果

↑＝前回より高順位

→＝前回と同順位

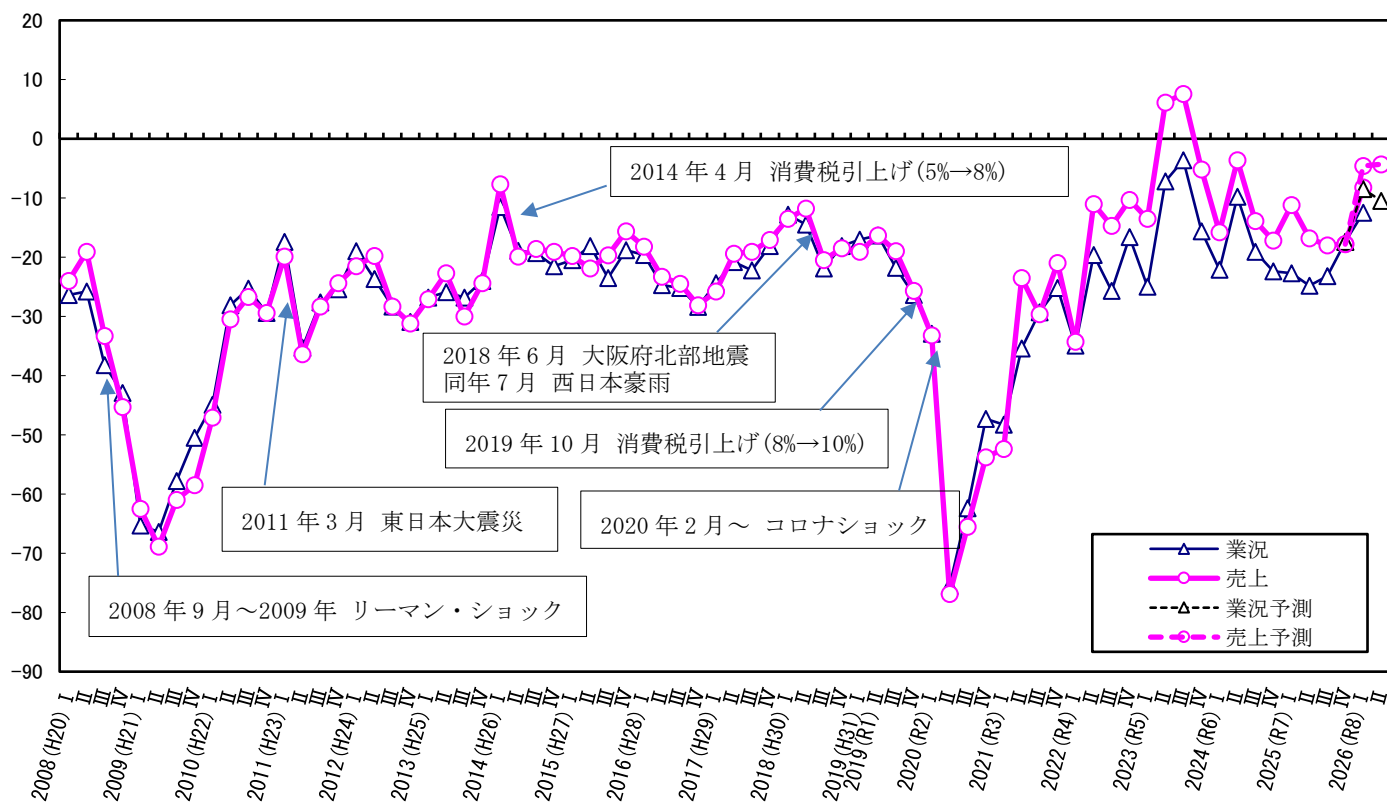
↓＝前回より低順位

■ 状況比較表（業種別）

項目	業種	今期の状況(1~3月期)				前回(9~12月期)からの推移	来期の予想(4~6月期)			
		増加	不変	減少	増一減		増加	不変	減少	増一減
売上額										
	製造業	23.0	45.9	31.1	▲ 8.1	4.1	21.6	47.3	29.7	▲ 8.1
	卸売業	19.3	49.1	31.6	▲ 12.3	▲ 3.8	28.1	50.9	21.1	7.0
	小売業	33.3	33.3	33.3	0.0	26.7	22.8	40.4	36.8	▲ 14.0
	サービス業	27.9	32.4	39.7	▲ 11.8	12.5	26.5	45.6	27.9	▲ 1.5
	合計	25.8	40.2	34.0	▲ 8.2	9.6	24.6	46.1	28.9	▲ 4.3
	前回	21.2	39.4	39.0	▲ 17.8		24.3	46.3	29.0	▲ 4.6
資金繰り		好転	不変	悪化	好一悪		好転	不変	悪化	好一悪
	製造業	8.1	66.2	23.0	▲ 14.9	0.0	6.8	71.6	17.6	▲ 10.8
	卸売業	3.5	78.9	15.8	▲ 12.3	4.7	7.0	78.9	12.3	▲ 5.3
	小売業	12.3	63.2	24.6	▲ 12.3	1.1	10.5	68.4	21.1	▲ 10.5
	サービス業	7.4	69.1	22.1	▲ 14.7	5.0	11.8	67.6	19.1	▲ 7.4
	合計	7.8	69.1	21.5	▲ 13.7	2.5	9.0	71.5	17.6	▲ 8.6
	前回	6.6	69.9	22.8	▲ 16.2		8.5	70.7	20.1	▲ 11.6
業況		好転	不変	悪化	好一悪		好転	不変	悪化	好一悪
	製造業	16.2	56.8	25.7	▲ 9.5	5.4	13.5	60.8	23.0	▲ 9.5
	卸売業	8.8	59.6	31.6	▲ 22.8	▲ 14.3	14.0	54.4	24.6	▲ 10.5
	小売業	22.8	45.6	29.8	▲ 7.0	13.0	10.5	56.1	29.8	▲ 19.3
	サービス業	22.1	42.6	33.8	▲ 11.8	14.0	23.5	48.5	27.9	▲ 4.4
	合計	17.6	51.2	30.1	▲ 12.5	4.9	15.6	55.1	26.2	▲ 10.5
	前回	15.1	52.5	32.4	▲ 17.4		15.4	58.3	23.9	▲ 8.5
従業員		過剰	適正	不足	過一不					
	製造業	0.0	70.3	25.7	▲ 25.7	▲ 4.1				
	卸売業	1.8	84.2	8.8	▲ 7.0	1.5				
	小売業	3.5	70.2	14.0	▲ 10.5	1.1				
	サービス業	4.4	67.6	22.1	▲ 17.6	0.5				
	合計	2.3	72.7	18.4	▲ 16.0	▲ 0.6				
	前回	1.9	75.3	17.4	▲ 15.4					

「今期の状況（除従業員）」は2026年1~3月期状況であり、前年同期の2025年1~3月期との比較。来期の予想は2026年4~6月期予想であり、2025年4~6月期との比較である。「前回」欄は2025年10~12月期調査の数字。従業員は、過去との比較ではなく、業務量に照らした過不足。

■景況グラフ（売上額・業況）



※表示値＝D I（増加・好転－減少・悪化）値

※ I 期=1-3月、II 期=4-6月、III 期=7-9月、IV 期=10-12月

※2026年 II 期予想値